

日本国際地図学会機関誌「地図」投稿原稿執筆の手引き

平成 16 年 2 月 3 日

日本国際地図学会編集委員会

「地図」に和文の原稿を投稿する場合は、投稿規程に従うとともに、この手引きにより執筆してください。

1. 提出物の形態等

- 1) 本文原稿：原則としてワープロソフト等を用い、A 4 縦の用紙に印刷してください。周囲に十分余白を取るようにし、可能なら、既刊号を参照してなるべく刷り上がりイメージに近い形（1 ページは 24 字×44 行×2 段）としてください。手書きでの原稿を提出する場合（電子ファイル化する費用は著者負担）は、A 4 縦の原稿用紙を用いてください。
- 2) 図・表・写真の原稿：図・表・写真は、一つずつ 1 枚の用紙に描くか、貼りつけてください。用紙は原則として A 4 としますが、やむを得ない場合はこれより大きくてもかまいません。また、最初の投稿時点ではコピーを提出してください。刷り上がりイメージに近い形で原稿を作成する場合は、希望する位置に貼り付けてもかまいません。
- 3) 電子媒体または電子メール：電子媒体に収録した原稿を提出する場合は、原則としてフロッピーディスクまたは CD を用いてください。これには、図・表・写真の電子ファイルを収録することもできます。図や写真を使用しない原稿については、電子メールの添付ファイルとして送付することも可能です。いずれの場合も、必ず広く使われているファイル形式を用いてください。疑問の点があれば、事前に学会事務局に問い合わせてください。

2. 表題

表題は、原稿の内容を簡潔に表現するものとします。副題をつけることはなるべく避けてください。資料の場合を除き、長い原稿を分割して、その 1、その 2、などとすることは認めません。

3. 著者名

総説・展望、原著論文、報告、資料、討論および随想・意見の場合は、表題の下に著者名を書いてください。連名の場合は、「・」をはさんで列記してくださ

い。また、各著者名の右肩に * , ** , の記号をつけ、著者名の次に各著者の所属機関名を示してください。

書評・紹介およびニュースの場合は、原稿の末尾に、著者名を括弧に入れて表記してください。

総説・展望、原著論文、報告、資料および討論の場合は、著者名の下に、3 ～ 5 語の範囲でキーワードを書いてください。キーワードは、研究の視点、対象、方法などの点で原稿の内容を的確に示す語を選定してください。著者の造語や一般性のない略語は用いないでください。

5. 文章の表記

- 1) 文章は現代仮名遣い、常用漢字を用いた口語体で書くものとします。ただし、固有名詞、古文書を引用する場合などはこの限りではありません。
- 2) 手書きの場合は、文字は楷書体ではっきりと書いてください。英数字で斜字体にしたい場合は該当個所に赤色の下線で指定してください。
- 3) 地図学用語は、日本国際地図学会編（1998）『地図学用語辞典 [増補改訂版]』によることを原則とします。
- 4) 原則として章は 1 . , 2 . , , 節は 1) , 2) , とします。章・節を 3 段階に区分する場合は、最も大きい区分を , , とし、その表題は行の中央に位置させます。

6. 注

注のある箇所には¹⁾ , ²⁾ などの通し番号をつけ、本文末尾に注の内容を一括して記述するものとします。脚注は認めません。

7. 文献の引用

- 1) 文献を引用する場合は、必要な箇所では、文献の著者名と発表年を示すものとします。具体的には、次の例にならってください。

[単独著者の場合]

野村（1995）によれば、.....

.....した例がある（国土地理院，1980）。

[著者 2 名の場合]

Robinson and Morrison (1985) は，.....

.....と指摘されている（大久保・渡辺，1998）。

[著者 3 名以上の場合]

高崎ほか（2002）に示されているように，.....

.....と呼ばれた（Mercator *et al.*，2010）。

- 2) 本文の末尾（注がある場合にはその後）に，引用した文献の文献表を掲げるものとします。文献表では，著者名（共著の場合全著者名を列挙する），発表年，文献名，雑誌名（和文雑誌は略記しない），巻（通しページのない場合は号も），ページ，発行所（単行本の場合）を必ず記載してください。これらの事項の記載順および文献の並べ方は，次の例を参考に，一つの原稿の中で統一してください。

[文献表例]

小笠原義勝 1963 . 5 万分の 1 土地利用図 . 地学雑誌 66 : 91-97.

川井孝之・半沢 敬・上田秀敏・百崎 誠 1994 . 電子海図作成に関する技術仕様とその課題について . 地図 32(1) : 1-8.

国土地理院 1998 . 地球地図の利活用法 . <http://www1.gsi.go.jp/geowww/globalmap-gsi/utilization/rikatuyou.html>

高阪宏行 2002 . 『地理情報技術ハンドブック』朝倉書店 .

スロワー , N.J.W. 著 , 日本国際地図学会監訳 2003 . 『地図と文明』表現研究所 . Thrower, N.J.W. 1999 . *Maps and civilization: Cartography in culture and society, 2nd ed.* Chicago: Univ.Chicago Press.

矢守一彦 1983 . 城下町絵図の類別 , 特に藩用図について . 藤岡謙次郎編 『城下町とその変貌』 29-40 . 柳原書店 .

Perrotte, R. 1986 . A review of coastal zone mapping. *Cartographica* 23 : 3-65.

Robinson, A.H., Sale, R.D. and Morrison, J.L. 1978 . *Elements of Cartography, 4th ed.* New York: John Wiley&Sons.

8 . 図・表・写真

- 1) 図・表はできるだけ単純明瞭なものとするよう努めてください。
- 2) 図・表・写真の刷り上がりの左右の幅は 1 段分（約 8cm）または 2 段分（約 16.5cm）にうまく収

まるようにしてください（ぴったりでなく，左右に多少の白紙部分があってもよい）。

- 3) 図は，縮小率を考慮して線の太さ，文字の大きさなどに注意して明瞭に描き，そのまま印刷可能なものとしてください。また，既存の地図を用いる場合は，必要に応じて方位や縮尺（原縮尺と縮小率）を明示してください。流れ図のような不規則な斜線を含むものは，例え文字が大部分でも図として扱います。編集委員会が特に必要と認めた場合にはアート紙の使用やカラー印刷も可能ですが，その費用は著者負担となります。
- 4) 表についても，できるだけそのまま印刷可能なものを提出するよう心がけてください。
- 5) 写真は，鮮明なものを提出してください。編集委員会が特に必要と認めた場合にはアート紙の使用やカラー印刷も可能ですが，その費用は著者負担となります。
- 6) 図・表・写真はそれぞれごとに通し番号をつけ，本文中で必ず引用してください。
- 7) 図・表・写真の表題と説明文は，図・表・写真のそれぞれごとにまとめて記述してください。表題にはできるだけ英文を添えてください。

9 . 英文表題・要旨

- 1) 総説・展望および原著論文には，600 語程度以内の英文要旨を添えなければなりません。報告，資料，討論および随想・意見の場合には，英文表題を示すだけでもよいですが，できるだけ英文要旨を添えるよう心がけてください。
- 2) 要旨の最初に，英文の表題（最初の文字と，2 番目以降の単語のうち冠詞・前置詞以外の単語の先頭文字は大文字で）と，行を変えて英文の著者名（姓はすべて大文字，名は先頭文字だけ大文字）を書いてください。著者が複数の場合は，「A and B」，「A, B and C」というように表示してください。また，著者名の前に「by」（斜字体を指定）と書きます。
- 3) 英文要旨は，正確なものとなるよう，あらかじめ適当な人の校閲を受けておくようにお願いします。

10 . その他の注意事項

- 1) 原稿（図・表・写真を含む）は長さの上限が定められていますが，その長さ以内であってもできるだけ無駄なく簡潔にまとめるように心がけてください。編集委員会が特に認めた場合には長さ制限を超

えることが許されることもあります，超過分の費用は著者負担となります。

- 2) 既発表の著作物から複製・転載するものが含まれる場合には，あらかじめ著作権に関する問題が生じないようにしておくほか，法令上必要な手続き等があれば済ませておかねばなりません。
- 3) 一旦受理された原稿は，校正段階では追加・修正

することができません。

- 4) 字体，図・表・写真の大きさと配置等，体裁に関することは編集委員会が決定します。
- 5) 本学会は，その活動のため，「地図」に掲載された記事を使用することがありますので，あらかじめご承知置きください。